

【H. 20 修道 17 回卒関東同期会の報告】

修道 17 回卒関東同期会は、去る 3 月 7 日夜、平成 20 年の定例の同期会を都内飯田橋の公的飲食施設で開催しました。

当日は、メンバーに登録している同期生 100 名のうち、39 名の参加がありました。例年通りの人数でしたが、出張等の理由で参加予定の 6 名が欠席となったのは残念でした。一方、名古屋の山根君や広島 of 村尾君が遠路はるばる参加してくれたのは、参加者にとって感激でした。

同期会は、18 時半からの開催の予定でしたが、18 時には既にメンバーが集まりだし、定刻までに大半のメンバーが集まり、定刻の開会となりました。（ただ、勤務の関係で 1 時間以上も遅れる人や作業服のまま駆けつけてくれた人もいましたが、これについては、「大変だなあ！」という感覚と「まだ現役バリバリなんだなあ！」という感覚の両方が湧いてきました。）

会は、古内幹事の挨拶・司会、亀本幹事からの最新名簿、欠席者からの近況報告（付録：出席者からのメッセージ）、修道学園同窓会誌「修道」、修道学園の広報パンフレット等配付資料の説明後、山根君の乾杯で始められました。

その後は、刺身、和牛のすき焼きなどの料理を食べながらの歓談となりました。

そして、時間の都合で、直ちに、各出席者による近況等の報告に入りました。還暦を迎える中で、それぞれが仕事や家庭・趣味で奮闘している様子などを話し、それに対して、他の人たちは、自分と同じ悩みに共感したり、自分と同じ楽しみに同調したりしながら、聞いていました。共通的な話題は、新しい仕事のこと、親の介護のこと、自分や家族の健康のこと、趣味や生き甲斐のことでした。

この中で、「問題の解決に、この同期会の輪が役立った。」との報告もあり、幹事としては、幹事冥利に尽きる感がありました。

近況報告が終わると、気のあったメンバー、話題の同じメンバーが各所に車座を作り、話の輪を拡げていきました。

酒やビールの瓶もドンドン空になっていきましたが、気のせいかな、昔よりはその量が昔よりは少なくなったような気がしました。（やはり歳をとったのでしょうか？）

こんなことをしつつ、旧交を温め、また、懇親を深めていると、あっという間に、終演予定の時間が来ました。

そこで、最後は、山本(浩)君のたっての希望によりみんなで「広島音頭」を歌い、最後の最後は、昔ブラスバンド部だった金子(堅)君の指揮によって、みんなが立ち上がって校歌を斉唱しました。還暦オトコたちの青春が一気に甦った瞬間です。

最後は、亀本幹事が用意したカメラと三脚で全員の集合写真を撮り、今年 7 月の関東支部総会や来年の同期会の再会を期して、散会しました。

このあと、何人かの有志は、住枝君の経営する新宿の「檸檬屋」で二次会を催しました。

（報告者：亀本）

（お詫び）出席者の内、戸田君と横山君は、途中で退席されたため、集合写真に写っていません。